



大西 さとる

東京都議会議員

【大西さとるプロフィール】昭和36年生まれ。立命館大学経済学部卒。早稲田大学大学院修士課程終了。民間IT企業勤務後、細川律夫衆議院議員公設第一秘書を経て、平成13年都議選に挑戦するも惜敗、平成17年に都議選に初当選。文教委員会委員長、都議会民主党幹事長代行、オリンピック招致特別委員会理事などを歴任。現在、経済港湾委員会理事。



平成25年 東京都議会第一回定例会一般質問

足立区の教育レベルの向上、 治安回復に尽力！ 定例会での一般質問

東 京都議会議員大西さとるの一般質問内容について、要旨をまとめ報告させていただきます。ご一読頂き、率直なご意見を頂ければ幸いです。

I 足立区の教育レベルの向上



23区で最も低いと言われた足立区の教育レベル、これを高くするために、頑張る足立区の子供たちを応援するために、地域的な要素を考慮して足立区に進学校を設置するように提案し続けた。その結果、江北高校を進学指導推進校に指定。その期間も5年間延長することが受け入れられたことに感謝している。この施策の効果は？

《教育長》比留間英人 進学指導推進校の指定を受け、生徒の学力を分析し、授業改善を行い、指導体制の改善と教育内容の充実に取り組んでいる。今後はさらに、習熟度別指導、進学指導に関する技術向上、特進クラス運営や指導力に優れた教員OBの活用により進学実績の向上に向け、支援していく。



II 足立区の治安回復



ワーストワン、ツーを日本最大の歓楽街を持つ新宿区と争っている足立区の治安問題、足立区の治安回復に警視庁に強く応援をいただきたい。足立区治安再生アクションプログラムに協働してきた警視庁のこれまでの取り組みと、今後、足立区の治安再生に向け、どのような対策を実施していくのか。

《警視総監》西村 泰彦 警視庁は、足立区と協働して、足立区治安再生アクションプログラムを策定。効果的な抑止対策及び取り締まりの強化を初めとする総合的な治安対策の推進、街頭防犯カメラなどの設置促進を初めとする防犯設計による犯罪抑止対策の推進、少年に手を差し伸べる立ち直り支援活動を初めとする社会における規範意識の向上に向けた対策の推進など行った。また、ひったくり、乗り物盗、侵入窃盗の3罪種については、具体的な重点対策罪種と定め、検挙と抑止の両面から集中的な対策を実施し、一定の効果をあげた。

今後の取り組みは、当初3カ年の計画であった、足立区治安再生アクションプログラムの期間を延長し、平成25年度の重点目標として、刑法犯認知件数を年間9,000件未満に抑える、刑法犯認知件数に占める自転車盗の割合を3割未満に抑えることなどを定めた。このプログラムに基づいて、自転車盗抑止対策、防犯カメラの設置促進、ひったくり防止対策、振り込め詐欺対策を重点的に推進していく。

Ⅲ 集団接種の再開



インフルエンザ流行の年。その原因の一つに、子どものインフルエンザが法定接種から任意接種に変更になったことを指摘する医者がいる。接種されない子どもは、家庭事情、家庭環境にて、同じ子どもに特定されているという傾向も存在。その対処方法として、小学校での集団接種の再開を望む声も多い。日本の集団接種は、メディカルトリビューンでも高く評価されている。都の見解は。

《福祉保健局長》川澄 俊文 ▶ 予防接種の実施方法は、重篤な副反応の発生を可能な限り防止することを目的として、子どもの個人的な体質等をよく理解したかかりつけ医が、ふだんの健康状態、当日の体調等を的確に把握した上で行う個別接種が基本となっている。

Ⅳ 死因究明



外表検査では異常がなく、病死とされた事例が、解剖によって犯罪死体であることが証明された事例はたくさんある。死因究明の必要性の認識を新知事に聞く。

《知事》猪瀬 直樹 ▶ 死因究明を適切に行うことは、死者の尊厳や権利を守るとともに、公衆衛生や臨床医学に寄与し、現代医学の進歩に貢献するもの。

隠れた犯罪死や事故死の発見など、社会秩序の維持に、東京監察医務院は大きく貢献。医師の診察を受けずに死亡した死体について、医師が死因究明のために見分する検案や解剖は、人が受ける最後の医療という位置づけで、そこで得られた知見により、一人の死が万人の生につながっていく。今後とも、監察医務院の役割をきちんと果たして、死因の究明というものに力を注いでいきたい。

Ⅴ 東京都監察医務院の設備充実



近年、検案数、解剖数ともに年々増加傾向にあり、30年前の3倍に増えている。東京都監察医務院は、施設の建て替えにあわせ、人員体制の充実も含めた今後の充実強化が必要だ。

《福祉保健局長》川澄 俊文 ▶ 画像による確認、CTの導入、化学分析装置の更新など、新たな施設、設備を十分に活用しながら、監察医務院の機能強化に努めていく。

Ⅵ 東京都推奨映画のポスター掲示



青少年健全育成審議会の委員として、よい映画については学校にポスター掲示を提案してきた。この施策の評価は。

《青少年・治安対策本部長》樋口 真人 ▶ 今回の映画については、審議会からのご提案により、都内の公立小学校全校にポスターを配布した。

学校にポスターが貼られることにより、子どもやその保護者等の目にとまり、優良映画を鑑賞するきっかけになるとわれ、青少年の健全育成に資するという推奨制度の趣旨に沿うものと考えている。

Ⅶ タクシー降車場の整備



幹線道路の違法駐車が増えたため駐車監視員の取り締まり対象が生活道路周辺になりつつあり、公衆便所の前でトイレ使用中に取り締まられたとの事例紹介をした上で、タクシーの降車が交差点の場合、運転手は検挙対象になってしまう。人やバス、タクシーなどが集中する駅前では、タクシーの駐車スペースを計画的に整備することが必要だ。

《都市整備局長》飯尾 豊 ▶ 高度に都市化が進展した東京では空間が限られていることから、駅周辺のまちづくりなどの機会を的確にとらえて駅前広場を整備し、その中で必要な駐停車スペースを確保するよう努めている。

Ⅷ ドライブレコーダーの設置推進



バスの運転手が飛び出してきた自転車を避けるため急停止。衝突は避けられたものの、乗客が車内で転倒してけが。運転手は後日、反則切符を切られた。この対策として安全度が高まり、運転手を守ることになるドライブレコーダーの設置の促進をすべきだ。

《都市整備局長》飯尾 豊 ▶ ドライブレコーダーの設置を含む安全対策については、事業者がみずから取り組むべきものであり、都は、事業者を指導する立場にある国と連携し、関係団体に対して適切に対応していく。

Ⅷ 足立市場、北足立市場の整備予算増額



私の地元の足立市場は、施設の老朽化に苦しんでいる。今年度の東京都の施設整備、修繕の経費予算では、足立市場、北足立市場は少なすぎる。双方の市場の整備の必要性を強く訴える。

《中央卸売市場長》塚本 直之 ▶ 市場の整備については、その特色、特性を生かしながら計画的に実施しており、足立市場についても、冷蔵庫棟冷凍機改修工事など、これまで多様な整備を行っている。加えて、都と市場関係者とが一体となった活性化への取り組みについても現在進めている。今後も、こうした取り組みを都と市場関係者とが協力しながら進め、食の安全・安心などの都民ニーズに的確に対応していく。

ご意見・ご要望をお寄せ下さい

連絡先

大西さとる 事務所

〒121-0816
足立区梅島1-12-6 高橋ビル2F
TEL.03-3849-7847 FAX.03-3849-7846
E-mail satoru@onishi-satoru.jp